

Q₂

(仮称)保健福祉総合センターの建設場所を、また変更してもよいのか？

A₂

- ①国土交通省からは「前沢地区都市再生整備計画」（平成19～23年度）として認可。
- ②政権が変わっても、**継続事業ならば22年度以降の支援の内諾**を得ています。
- ③**新たな場所、施設内容の大幅な変更になると、新規申請となり、補助対象となるか極めて不透明です。**
- ④富山地方鉄道など関係者から協力の了解を得ており、選挙後に議会への説明を行い、用地費・設計費等の予算案を提出したいと考えています。

老朽化した老人福祉センター、手狭になった保健センターなどを改築・統合し、公共交通機関の付近で建設することは、超高齢社会への対応の意味からも急務です。また、図書館を駅に近接させることは、主にバス・電車を利用する高齢者や雄山高校生にとっても、利便性が向上するものと期待されます。なお、図書館の跡施設利用について、舟橋貴之は児童センターあるいは教育関連施設にと考えています。

■緊急を要する学校施設等の整備のために、固定資産税率のアップによって町民（企業）の皆様にご負担をお願いしました。

●平成19年度は1.5% → 20・21年度は1.6% → 22年度は1.55%（※小矢部市と同率です。富山市は都市計画税率と合せると1.65%）

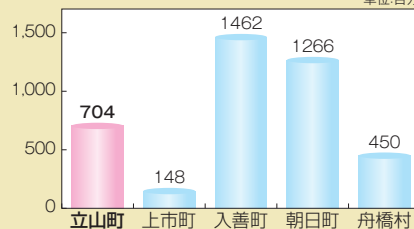
ただし、税率引き下げや評価替えにより、22年度は17年度と同額程度の税収まで下がると見込んでいますので、実質、元に戻ることになっています。

「貯め込んでいるから出せ」というご意見をいただくことがあります。財政調整基金は、大雪や災害対策のためにある程度蓄えておくことが町の責任です。

もちろん、役場自身が努力しなければなりません。そこで、この4年間で、

- ①町長給与2割を含む特別職の給与カットで総額**2,200万円**の町財政負担を軽減し、
- ②町職員数を**8.2%**削減しました。

●県内5町村の財政調整基金残高（20年度決算）
単位：百万



■しかし、議会から一旦は反対されるなどしても、「学校を整備したい」という熱意は、文部科学省などの関係者の心を揺さぶりました。その結果、国庫補助事業の情報が素早く入手できたので、短期間で以下の通りの事業を進めています。

なお、23年度にも立山中央小学校校舎改築工事着工を目指して、21年度秋に「基本構想策定委員会」を設置しました。



20年度

※()内は、単位：百万円

当初予算	釜ヶ淵小グラウンド	(35)
補正予算	日中上野小グラウンド	(36)【21年夏完成】
	立山北部小屋内運動場	(306)【3月完成予定】



日中上野小グラウンド



釜ヶ淵小グラウンド

21年度

補正予算	立山小屋内運動場	(261)【4月着工予定】
	学校給食共同調理場	(950)【3月本体工事発注予定】
	高野小暖房システム工事	(70)【22年3月補正で提案予定】



立山小屋内運動場（体育館）の完成予想図